



# ほうき 議会だより

第77号

2024年  
4月発行



伯耆町の春

## おもな内容

- 3月定例会の流れを議案とともにご紹介 ..... 2～3ページ
- 主な議案の採決結果、請願・陳情 ..... 4ページ
- 全員協議会 ..... 5ページ
- 令和6年度 当初予算質疑報告 ..... 6ページ
- 予算決算常任委員会審議報告 ..... 7～8ページ
- 現地調査 ..... 9ページ
- 皆様からの請願・陳情の審査結果 ..... 10ページ
- 一般質問 ..... 11～19ページ
- 議会の虫めがね 編集後記 ..... 20ページ

## 人の動き

	令和6年4月1日現在	前年同月比
人口	10,270人	△114人
(男)	4,922人	△69人
(女)	5,348人	△45人
世帯数	3,875世帯	1世帯

伯耆町議会

検索



# 会の流れ

## POINT & CHECK



STEP  
01

2月26日  
開催

### 全員協議会

町長をはじめ、副町長、教育長、課長等が一堂に会し、補正予算、令和6年度当初予算、条例改正などの提案説明。その他、報告事項等も行われる。

議案番号 1～26号  
(抜粋)

● ジュニア運動能力向上事業	352万円
● 証明書交付対応 行政マルチコピー機設置事業	915万円
● 溝口駅前整備事業	1,682万円
● バス車庫長寿命化改修事業	1,721万円
● ゆうあいパルクッズスペース整備事業	905万円
● 法定予防接種事業 (新型コロナウイルス予防接種委託料)	1,024万円
● 廃棄物処理管理事業 (廃棄物減容・減量機器購入費)	95万円
● 学校施設整備事業 など	829万円

### 本会議 予算質疑

STEP  
02

3月6日  
開催

令和6年度予算の総括質疑  
委員会での担当課への質疑の前に  
予算に対する町の考え方を問う。

内容は  
6ページに  
掲載

### 本会議 初日

STEP  
02

3月1日  
開催

#### 町長からの提案説明

各議案毎に提案説明があり、  
委員会へ議案の付託が行われる。

# 3月定例

## QUESTION & ANSWER

STEP  
03

3月18日  
開催

### 本会議 一般質問

8名の議員が登壇。  
町長・教育長と一問一答の  
質問戦が繰り広げられる。



一般質問の詳細は  
11ページから掲載

STEP  
03

3月4日から  
19日まで  
開催



### 予算決算等常任委員会

- 《3月4日》 補正予算 内容説明討論採決
- 《3月6日》 総務課・住民課
- 《3月7日》 教育委員会・産業課・農業委員会
- 《3月8日》 地域整備課
- 《3月11日》 分庁総合窓口課・企画課・健康対策課
- 《3月12日》 福祉課・保育所
- 《3月13日》 現地調査
- 《3月14日》 委員長・副委員長による意見提出
- 《3月19日》 審査意見回答・討論、採決

全議員で構成されている委員会。  
提出された議案について、担当課  
ごとに内容を確認し、賛否を決定  
する。

内容詳細は6～8ページに掲載

議員発議の条例改正案を提出説明

陳情等の付託議案の審査結果報告

一部事務組合派遣の報告

### 全員協議会

STEP  
04

3月21日  
開催

#### 追加議案などの説明

報告事項を中心に追加された議案などの説明が行われる。

など

討論採決の  
結果は、  
4ページに  
掲載



### 本会議 最終日

STEP  
04

3月22日  
開催

#### 議案ごとに討論採決

予算決算等常任委員会の付託案件や  
付託のない議案の採決が行われる。

#### 議案等に対する各議員の賛否（令和6年3月定例会）（○賛成 ×反対）

議案番号	議員名（議席番号順） 件名	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	一橋	渡部	幅田	大森	勝部
		桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	信介	勇	千富美	英一	俊徳
1	鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会共同設置の廃止に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
2	専決処分について（令和5年度伯耆町一般会計補正予算（第5号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3	令和5年度伯耆町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	令和5年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5	令和5年度伯耆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6	令和5年度伯耆町索道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-
7	伯耆町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	伯耆町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	伯耆町情報公開条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	伯耆町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11	伯耆町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
12	伯耆町会計年度任用職員の給与及び報酬に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
14	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
15	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
16	伯耆町過疎とみなされる区域に係る過疎地域持続的発展計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	令和6年度伯耆町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
18	令和6年度伯耆町町営公園墓地事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19	令和6年度伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
20	令和6年度伯耆町地域交通特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
21	令和6年度伯耆町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
22	令和6年度伯耆町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
23	令和6年度伯耆町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
24	令和6年度伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
25	令和6年度伯耆町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
26	令和6年度伯耆町索道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-
許可1	議案の撤回について（議案第13号 伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
27	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	-
発議案1	伯耆町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
発議案2	伯耆町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議案3	伯耆町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議案4	食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

# みんなが知りたい 全員協議会

令和6年2月26日、3月21日に行われました。その内容は次のとおりです。(一部抜粋)

## ●副町長選任について

3月定例会にて岡本健司氏が選任された。

新任 岡本 健司氏

・住所 伯耆町溝口

・任期 令和6年4月1日

令和10年3月31日(4年)



## ●定額減税がはじまる

令和6年度分の個人住民税額から本人と扶養家族1人当たり1万円、所得税額からは1人3万円の減税が実施される。扶養家族は同居していなくても良い。

\*例 給与所得の場合 令和6年6月分を税徴収せず。控除しきれないものは、順次令和6年7月分から令和7年5月分の11か

月で控除

・給与収入2000万円以下に限る。

・施行期日 令和6年4月1日

## ●国民健康保険税の見直し

①国民健康保険税の課税限度額の引き上げ

・後期高齢者支援金等課税額は現行22万円から24万円へ。

②低所得者に係る国民健康保険税(均等割・平等割)の2割及び5割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の見直し

・2割軽減 基準額減現行53.5万から54.5万円へ。

・5割軽減 基準額原稿29万円から29.5万円となる。

・施行期日 令和6年4月1日

## ●固定資産税の課税免除

固定資産税の課税免除又は不均一課税を行う対象認定事業者

について、地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定を受ける期間を現行の令和6年3月31日から2年間延長する。

・施行期日 令和6年4月1日

## ●開発協定締結に係る意見聴取について

清山農場開発事業 養鶏場施設の建設6棟増設について

・予定地 伯耆町清原地内

・面積 6,837㎡

・事業主体 株式会社大山どり

(議会からの意見)

・今後、締結される開発協定書及び覚書等を遵守するよう指導すること。

・町は、開発事業完了後の臭気対策及び汚水防止対策を含めた公害防止対策については、開発事業者と地元関係集落等と今後とも協議を継続するよう指導されたい。

## ●し尿及び浄化槽汚泥について

現在、鳥取県西部広域行政管理組合の米子浄化場で共同処理しているが、令和14年度から米子市下水道施設(内浜処理場)で広域処理を行うにあたって、必要な施設整備や事務手続き等の概要説明

## ●旧灰溶融施設(エコスラグセンター)の解体撤去について

エコスラグセンターの解体撤去に向けたスケジュールについて鳥取県西部広域行政管理組合が現時点で想定している旧灰溶融施設(エコスラグセンター)の解体撤去に向けたスケジュールが提出された。

・令和6年度にアスベスト含有調査(約4か月)・ダイオキシン類調査(約4か月)・土壤汚染状況調査(約5か月)・解体撤去工事設計業務(約10か月)を実施

・令和7年度～令和8年度解体撤去工事

## ●議会議務局長異動について

4月1日に議会議務局長に木村利郎氏が着任された。

新議会議務局長

木村 利郎氏



# 令和6年度当初予算質疑

一般会計ほか当初予算について5名の議員が質問

乾裕 議員

## ●新型コロナウイルス感染症の 予防接種について

ワクチン接種の対象者は65歳以上となっているが、60歳から64歳まで重い基礎疾患のある重症化リスクの高い人については対象となるのか。

## ●健康対策課長

令和6年度から予防接種法により、定期接種として実施する。対象については、65歳以上の方、60歳から64歳で心臓、腎臓または、呼吸器の機能障害の方、およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のリスクがある方である。

## ●消費者行政対策事業

受話器を取ると立ち上がり詐欺犯罪の防止を啓発するポップアップシールが有効と思われる。現予算計上額で対応できないか。

## ●住民課長

啓発シールについては予算の段階では検討していないので対応できるかは不明だが、現物を取り寄せるなどして検討してみたい。

上田 博文 議員

## ●物価高騰対策

個人や団体の補助金、指定管理料、委託料において、どのような物価高騰の対応をされたのか。

**総務課長** 従前の指定管理料、補助金は見直ししていないが、必要があれば補正予算で対応する。

## ●企業誘致事業

岸本工業団地再整備測量設計業務における再整備、開発申請の具体的内容は。

## ●企画課長

エコスラグセンターの解体を念頭に、岸本工業団地としての開発許可を受けるため必要な計画図を作成し開発許可申請を行う。

長谷川 満 議員

## ●ゆうあいパル キッズスペース整備事業

キッズスペースの利用方法及び保護者の意見を反映させる意見交換の場を設ける考えはないか。

**福祉課長** 利用料金は無料。備品については子育て支援センタースタッフや利用者から意見を伺う予定。木のおもちゃなどはニーズを踏まえて検討していきたい。近隣の施設など必要に応じて調査をし充実させていきたい。



これから改修予定のキッズスペース

幅田 千富美 議員

## ●溝口駅前整備事業

どのような整備内容で、住民との協議の場はあるか。

## ●分庁総合窓口課長

駅前ロータリー、街灯等の整備を行う。交通事故対策は企画課で検討している。

## ●岸本ゆうあいパル キッズスペース整備事業

整備されるキッズスペースの管理体制は。

**福祉課長** ゆうあいパルで管理する。

## ●廃棄物減容・減量機器購入事業

具体的な検討方法を伺う。

## ●地域整備課長

家庭用軟質プラスチック圧縮器でゴミ減量、分別保管容易性等、モニターにお願いし検証のうえ、今後の事業の検討を行うもの。

## ●耐震性貯水槽

今後必要と思われる地域はどれくらいあるか。

**総務課長** 14地域を予定し、令和6年度は久古に設置し、他2ヶ所の設計を予定している

杉本 大介 議員

## ●指定避難所冷暖房器具購入事業

指定避難所である溝口武道館に冷暖房機器を導入することだが、将来的に他の指定避難所である体育館などの施設でも、空調設備を充実していく考えはあるか。

## ●町長

非常に効果を感じた場合は、可能性としてはある。

# 予算決算常任委員会審議

○予算決算常任委員会では、付託された15議案について、令和6年3月6日から19日までの間の7日間、各課から議案の説明を受け、付託された15議案については、すべて可決しました。本委員会で行なわれた質疑のうち、一部を抜粋して報告します。

## 一般会計当初予算

### ○防災・震災対策

**Q** 住宅耐震診断等の希望が増した場合の対応と耐震基準の見直しは。

**A** 増加すれば補正で対応したい。耐震基準の見直しは、県の動向を見て対応する。

○マイナンバーカードの行政書士による申請サポート事業

**Q** サポートを受ける対象者は。

**A** 施設入所者や入院者及び自宅で寝たきり者も想定している。

○学校図書館システム整備事業

**Q** この事業の実施に当たり、図書館振興財団振興助成の不採択の理由は。

**A** 本町の事業計画においては、独自性を求められている。

**Q** 財源変更して、ふるさと納税などの他の事業も検討しないか。

**A** 他課との協議が必要となる。

### ○写真美術館

**Q** にぎわいフードマルシェのイベントで入館料無料にするメリットは。また入館料の徴収は考えないか。

**A** 多くの人に来てもらい、ショップの売り上げに期待する。入館料の徴収はスタッフの手間がかかって難しい。



にぎわいフードマルシェ

### ○地域計画事業

**Q** 地域農業の将来のあり方を定める「地域計画」はどのように進めるのか。また検討委員会はどのようなメンバーなのか。

**A** 令和7年3月までに策定が必要。中山間支払事業により集落の意向調査や簡単なアンケート調査を行い、10年後の耕作の目標地図を作成する。委員会メンバーは、県、農協、認定農業者からなる。

### ○ジュニア運動能力向上事業

**Q** この事業は、企画課で予算計上だが、小中学生の体力、運動能力の向上を目的としており、教育委員会とはどのように連携するのか。

**A** 会場も溝口武道館の柔道場を活用し、運動能力向上のトレーニングが継続するよう、体育教師の参加等による町内指導者の育成を目指す。



溝口武道館

### ○溝口駅前整備事業

**Q** 地元との意見調整、意向調査を行ったのか。

**A** 令和6年度に地元区長と話す予定。

**Q** カラー舗装は、耐用年数が短く投資効果が低い。側線によるエリア分けの考えは。

**A** カラー舗装の工法も変わり、耐用年数も長くなっているが、側線との比較検討を含めて検討する。

### ○保育所

**Q** 保育所の食材で、物価高騰の影響はないか。

**A** 食材については、納入業者と密に連絡を取りながら対応しているが、食材の配送に負担が増えている。

### ○ねりんピック開催事業補助金

**Q** 伯耆町で設置するこの委員会はどのような役割を果たすのか。

**A** 町は、ゴルフ交流大会に合わせ、健康相談や健康づくりビデオや町紹介ビデオの放映、観光パンフレットの配布を想定。

### ○町外宿泊者の対応は。

**A** 宿泊は、県が取りまとめるが、町内指定宿泊施設は、メルキュール大山と一部のペンションを予定。

**Q** 墓地購入後の返還金9割は、多すぎる。検討すべきでないか。  
**A** 他の自治体では返還しないところもあり、見直しが必要な時期であるという認識である。



公園墓地全景

**Q** 運転手の高齢化により運転手の確保が難しくなっているが、自動運転は検討しないか。  
**A** 自動運転はまだ実証段階であり、検討はしていない。  
**Q** 部活動の地域移行に際し、クラブ活動時のデマンドバス利用料無料化を検討しないか。  
**A** 完全移行に向けて、教育委員会とこれから話をしてゆく。

## 当初予算に対する意見・回答 (Q&A)

予算決算等常任委員会提出の審査意見に回答がありました。(要約版)

所管	提出意見の内容	町長の回答
総務課	<b>Q1</b> 耐震性貯水槽の年次整備計画は、地元区長への説明とともに議会にも提出すること。また、用地の契約等は永続設置が可能となるよう法的な検討をすること。	<b>A1</b> 議会にも予算説明時に資料を出す。契約方法に関し、懸念はあるが、防火優先で設置を進めたいので、意見をふまえ進める。
	<b>Q2</b> 財産管理は、条例に基づき、所管課が主体性をもって適正に行うこと。	<b>A2</b> 条例に基づき管理していく。地域の皆様の意見もあるので臨機応変に対応していく。
産業課	<b>Q3</b> 農業委員会事務局職員は、町の正規職員が主体的に担任できることが常態となるよう人材の配置並びに育成を図ること。	<b>A3</b> 「農地の番人」という性格と、農業者年金や農地パトロールなど細かい事務もある。農業施策全体の取り組みが必要なので、課員の兼務で対応し、スキルアップを図る。
地域整備課	<b>Q4</b> 野犬捕獲及び動物死体処理作業の処理件数を把握し、その危険性及び困難性のための特種勤務手当の創設を検討すること。	<b>A4</b> 他団体の状況を確認し、検討していく。必要となれば条例等の改正も想定されるため、改めて相談させていただく。
企画課	<b>Q5</b> 美術館周辺にぎわい創出事業の実施にあたっては、役場関係課、事業者等とは緊密に連絡し、より効果あるものとする。	<b>A5</b> 来年度は、事業者が主体となってミニイベントの回数が増やされる。これまでのようなイベントも実施しながら、事業者のサポートや美術館の案内チラシなど、集客も工夫していく。
その他	<b>Q6</b> 溝口駅前整備事業並びに耐震性貯水槽整備事業等の工事等に関する事業については、工事個所表並びに関係図面を当初予算資料に添付すること。	<b>A6</b> 取り組んでいく。資料については、積算に近いものは難しいと考えるが、公開するのにリスクのない形で出せるようにしたい。

# 令和6年度予算に関わる 現地調査

(令和6年3月13日)



岸本工業団地



耐震性貯水槽(久古)



溝口まちなか整備事業



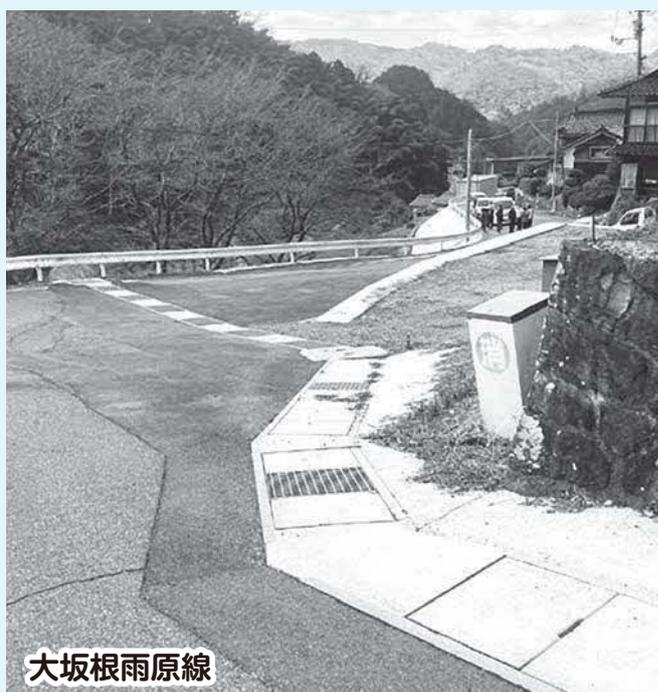
溝口駅前整備事業



溝口清掃センター



溝口中学校グラウンド整備事業



大坂根雨原線

総務経済常任委員会、教育民生常任委員会それぞれの委員会で慎重審査  
皆様からの 請願・陳情 の審査結果



請願・陳情に対する各議員の賛否（令和6年3月定例会）

陳情番号	議員名（議席番号順） 件名	結果	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	一橋	渡部	幅田	大森	勝部
			桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	信介	勇	千富美	英一	俊徳
陳情第13号	町民岸本グランドナイター設備設置に関する陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第1号	辺野古新基地の断念と日米地位協定の改定、及び安全保障による米軍基地が必要であるならば全国で平等に負担するよう求める意見書の提出に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	-
陳情第2号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第3号	食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第4号	「誰もが安心してくらせる社会の実現」に向けた要請に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-

(※) 勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

## 食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書

政府は、2024年の通常国会で、食料・農業・農村基本法を見直し、新たな「基本法」を制定することをめざしています。

日本のカロリー自給率38%は先進国の中でも最低であり、穀物自給率28パーセントは世界185カ国中129位です。旧農業基本法以来、自給率は一貫して右肩下がりに低下し続け、現行の食料・農業・農村基本法制定後、5次にわたる「基本計画」で食糧自給率を引き上げるとされてきましたが、目標を達成したことはありません。

食料輸入がストップしても、国民を植えさせないこと、安定的に食料を確保することは国の基本的な責務です。「新基本法」では食糧自給率目標を定める基本計画を国会承認制とし、計画の達成度の検証結果と必要な政策の見直しを国会に報告させるなど、食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを政府に求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月22日

鳥取県西伯郡伯耆町議会

〈提出先〉 内閣総理大臣 岸田 文雄 様  
財務大臣 鈴木 俊一 様  
農林水産大臣 坂本 哲志 様  
衆議院議長 額賀福志郎 様  
参議院議長 尾辻 秀久 様

# 一般質問 町政を問う!

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

8人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

## 基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

令和6年3月18日 開催

ページ	主な質問事項	質問議員
12	・防災のまちづくりについて ・文化財の保存と活用について	ながい きんや 永井 欣也 
13	・伯耆町地域防災計画について	わたなべ いさむ 渡部 勇 
14	・本町の大規模災害時の避難行動要支援者に対する備えについて ・障害者差別解消法改正について	おおどこ けいすけ 大床 桂介 
15	・インバウンド観光の今後の展開は ・中学校部活動の任意加入でこれからの動きは	はせがわ みつる 長谷川 満 
16	・伯耆溝口駅の公衆トイレ洋式化など改修を ・伯耆町の上水道の耐震化について	いぬい ゆたか 乾 裕 
17	・持続可能な農業の実現について ・町道整備及び維持管理について	うえだ ひろふみ 上田 博文 
18	・地域防災計画の見直しについて ・保健師の増員について ほか	はばたち ふみ 幅田千富美 
19	・安心・安全な町づくりについて ・少子化対策について	かたおか ちあき 片岡 千明 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるYouTubeの二次元バーコードはこちらです。



# 防災のまちづくりの課題と対策は

町長 自助・共助・公助の

役割分担が必要

別に対策に取り組む必要がある。



ながい きんや 議員  
永井 欣也



ユーチューブ  
動画は  
こちらから

**問** 平成12年の鳥取県西部地震では本町も大きな被害をうけたが、20数年たち、私は危機感、災害への備えの意識が少し希薄になっていった。今般の能登半島地震を受け、本町における課題や対策について伺う。

**答** 町長 地域の防災力を高めることは、非常に重要な分野。広域的な支援体制を国・県と一緒に考え、災害のタイプ



鳥取県西部地震災害現場(伯耆町宇代地区)

**問** 能登半島地震ではインフラの破壊、特に水道管の損傷、道路網の寸断による孤立集落の発生など災害復旧が遅れた要因と聞く。本町の現況を伺う。

**答** 町長 水道は耐震適合管で老朽管の更新に当たっている。今回の地震を踏まえ、本町が持つ多くの地下水井戸を維持する。道路網では二部地区の一部に複数のルートがない集落があり、注意が必要という認識でいる。

**問** 水道管の現状を数字的に伺う。

**答** 地域整備課長 本町の基幹管路の耐震化率は7.5%で、年々計画的に更新している。

文化財の保存と活用について

**問** 本町出身の彫刻家辻晋堂の漫画本が発行され町内全戸に配布された。二部小正門に設置の同氏制作の「拓士の像」は、元来セメント製であったが、痛みが激しくブロンズ化された。町指定文化財ではないが重要なもの。資料保存、像の管理体制を伺う。

**答** 教育長 原像は鬼の館ホワイエに移設展示している。ブロンズ化資料は書庫で適切に管理保管している。

**問** 資料の公開は。

**答** 教育長 要望があれば閲覧できるように準備する。

**問** 二部小に設置してある現在の像の管理は。

**答** 教育長 教育委員会が責任をもって、学校と相談しながら進める。

**問** 辻晋堂を漫画本に取り上げた意義、狙いを伺う。

**答** 教育長 地域の教育資源を活用したふるさと学習を通じ、自分の将来像を考えるきっかけとなることを期待した。



拓士の像

**問** 文化財の整理保存、展示場所確保、鑑賞や学習への活用など現在の進捗状況は。スピード感がないが。

**答** 教育長 保管している民俗資料の調査を行い一覧表を作成した。1000点以上あり詳細調査に数年かかる。できればかりが仕事ではなく、徐々に進めたい。

# 地域防災計画の見直しが必要！

## 町長 物資などについて

### 広域連携が必要



わたなべ いさむ 渡部 勇 議員



ユーチューブ動画はこちらから

**問** 地域防災計画において、避難所・ライフラインなどインフラ整備の備え方について問う。

**答** 町長 本町では注意が必要な地域が一部あるが道路など条件については能登半島とは状況が異なる。また、復旧時点ではある程度の支援が必要であるが、重機・資材などの搬送を含めて対応が可能である。

**問** 県は耐震化対策メニューも補助額の増額や支援の拡大を検討するとあった対策メニューとは。

**答** 総務課長 耐震設計や改修工事の補助上限額の引き上げなど、県の補助制度の拡充メニューに合わせる。

**問** 国は住宅が損壊した世帯への支給金を倍増する、県は県として考え、町としての支援の考えは。

**答** 町長 県の住宅支援金制度に載らない小規模な部分に対応しているが、今後は国・県の見直しをみて、検討する。

**問** 高齢化が進む本町、高齢化と防災まちづくりの関係は。

鳥取県市町村別の耐震化率

市町村	耐震化率	調査年度
鳥取市	87%	2022年
米子市	87%	2020年
倉吉市	78%	2020年
境港市	79%	2023年
岩美町	43%	2023年
若桜町	30%	2018年
智頭町	55%	2017年
八頭町	66%	2020年
三朝町	61%	2020年
湯梨浜町	79%	2020年
琴浦町	69%	2015年
北栄町	71%	2020年
日吉津村	70%	2015年
大山町	60%	2015年
南部町	67%	2015年
伯耆町	73%	2008年
日南町	53%	2015年
日野町	55%	2015年
江府町	35%	2020年

※耐震化率は小数点以下第1位を四捨五入  
※調査方法は市町村ごとに異なります

**答** 町長 自助・共助・公助、特に高齢者の方となると発生時には避難を促し、誘導が必要である。地域のコミュニティを維持強化しなければならない。

**問** 今後活動的になる地質断層が増える可能性があるとも言われている町の災害に強いまちづくりとは。

**答** 町長 災害に対する備え、物資だけでなく心構えなども一回町民の皆さんに知ってもらうことを進めていくなど統合的なまちづくりをする。

# 避難行動要支援者に対する備えについて

町長 地域で

## 共助が働くか課題



おおどこ けいすけ 議員  
大床 桂介



ユーチューブ  
動画は  
こちらから

**問** 本町の大規模災害時の避難行動要支援者に対する共助の在り方、現状の課題について町長の考えを伺う。

**答** 町長 災害時、町としては避難所の開設をするのが中心となり、地域のコミュニティの中で自助、共助が働かないといけない、課題としてはその機能が果たすことができるのかがある。再度検討してみる必要がある。

**問** 本町の避難行動要支援者名簿について行政保有情報から導き出される要支援者の実数と名簿登録に同意された登録数について伺う。

**答** 総務課長 名簿登録に同意されている方は293件であり、独居の高齢者は705世帯、要介護者745人、障がい者手帳758人、現時点

で集約したものはないが、新システムの導入を検討している。不同意者の名簿はない。

**問** 平時の避難行動要支援者名簿の提供先や、個人情報保護の観点からの提供先での情報の管理方法について伺う。

**答** 総務課長 提供先としては自治会、地区の民生・児童委員がある。民生・児童委員に関しては守秘義務があり、自治会では名簿管理者を報告し、万全な管理をお願いするよう区長会を通して伝えている。

**問** 個別避難計画作成が市町村の努力義務となっているが、計画作成の状況について伺う。

**答** 総務課長 避難計画は名簿上に上がっている方の作成はできている。内容は緊急

連絡先、かかりつけ医、配慮が必要な事柄に関しては特記事項に記入している。

## 障害者差別解消法改正について

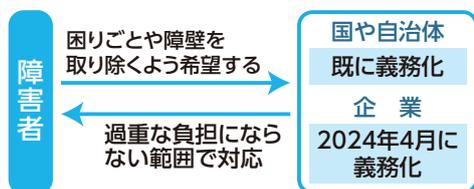
**問** 地域共生社会の観点から、今回の法改正の影響について町長の考えを伺う。

**答** 町長 以前から述べているとおり、重要な法整備だと考えている。

**問** この法律における事業者とはどういった個人及び団体を表しているか。また、事業者が差別的取扱いの禁止、合理的

配慮提供義務に違反した場合の罰則はあるか。

### 合理的配慮のイメージ



障害者	合理的配慮のイメージ
肢体不自由	・車いす利用者の移動をサポートする
視覚障害	・資料の点字を作成する ・読み上げで伝える
聴覚障害	・筆談、手話、イラスト、写真で意思疎通
知的障害	・ゆっくりはっきりと話す
精神障害	・落ち着かない様子の時、別室で休めるようにする

**答** 福祉課長 事業者とは商業、企業など同じサービスを提供する個人、団体である。ボランティア活動などの団体を含む。

**問** 合理的配慮に関して町内事業者が相談する身近な窓口はどこか。また、町内在住の障がい者の相談窓口はどこか。

**答** 福祉課長 福祉課が担当する。

# インバウンド観光の 今後の展開は

町長 広域連携での  
情報発信が一番

情報発信が一番



はせがわ みつる 議員  
長谷川 満



ユーチューブ  
動画は  
こちらから

**問** 外国人訪日客に向け大阪・関西万博も目前にPRも必然だが、現状の動きや印象、今後のアプローチは。

**答** 町長 町単独でインバウンドを考えるのは難しいテーマ。山陰ではインバウンド機構というものがあ、魅力あるコンテンツを点としての発信ではなく、線に近い形で発信することが重要。

**問** アドベンチャーツーリズム、その他のニューツーリズムについての考え方は。

**答** 町長 民間の取り組みを観光事業者が牽引していく流れが好ましく、そこでマーケットやニーズを把握し検討されることだと思う。食事や古民

家の街並み、資源化できるものをそのまま事業に活かすことが本質的に求められていると思う。

**問** 大山圏域連携を軸としたインバウンド観光施策の中で、対外発信の強化などに加え、重要なポイントとなることは何か。



大山焼久古窯で作陶体験

**答** 町長 広域連携での情報発信が一番であり、町としては、基本的にはアクセスも含め、インフラなど綺麗な町の状態でお迎えすることが大切だと思う。

**中学校部活動の任意加入でこれからの動きは**

**問** 伯耆町立中学校の部活動への原則全員加入を廃止し、これからは任意加入となる。影響はどれほどに及ぶのか。

**答** 教育長 中学校1、2年生と小学校5、6年生へアンケートを行った。中学生の7割と小学生の5割は部活動へ参加すると回答があった。今後は多様な学びや経験により心身の成長が期待される部活動以外の諸

活動への参加も推奨していきたい。

**問** 県や国の示す方針、近隣の学校部活動との連携、受け入れるクラブチームとのバランスなど、現状と今後の課題は。

**答** 教育長 休日の部活動地域移行の協議会で、数えきれないほどの課題に向け、地域連携型の具体化に向けて検討している。生徒の活動の機会を持続可能なものにしていくということが目的であり、国・県の方針にあるよう地域の条件に合わせ、整う部活動から段階的に進めていく。



# 伯耆溝口駅のトイレの改修は

**町長** トイレの洋式化については非常に重要



いぬい ゆたか 議員  
乾 裕



ユーチューブ動画はこちらから

**問** 溝口駅の公衆トイレは平成18年ごろに建設され男性トイレは和式のままである。(女子トイレも一部和式)。また、多目的トイレのオストメイト対応は。

**答** 町長 トイレの洋式化については非常に重要である。令和6年度の駅前整備事業の予算の中で対応できるのか検討したい。オストメイト対応トイレについては管理も含めて可否を判断する。

**問** 同公衆トイレのガラス状の通用口は進入禁止となっている。改修時には改善をされたい。

**答** 町長 課題意識として受け止めたい。

**問** 駅前広場の整備は。



溝口駅の公衆トイレ



溝口駅前広場

**答** 町長 事業化についてはお答えできない。基本的には維持管理を行っていく。

## 上水道の耐震化について

**問** 完了の用途は。

**答** 町長 水路管には耐用年数があり常に更新しなければならぬ。耐用年数を経過した水道管の割合を示す経年化率は令和4年末で0.87%と非常に低い。管路が比較的新しく健全化している。



水道管

# 持続可能な農業への 取組方針は

## 町長 担い手の確保がポイント



うえだ ひろふみ 議員  
上田 博文



ユーチューブ  
動画は  
こちらから

**問** 近年、水田活用交付金の要件のルール厳格化、畑地化促進事業の推進、さらに農地法の改正による50a以上で農業経営するという下限面積要件の廃止など、大きな地域農政の転換を迫る政策が打ち出されている。この農地法の50aという下限面積の廃止による本町の農地管理への影響は

**答** 町長 農地利用の需要が増加するというプラス面と経営の集約化、大規模化にはマイナスの面もあるが、耕作放棄地が増える現状では、どうしたら農地を有効に活用できるか考える良い機会になると考える。

**問** 今年の1月に畑地化促進事業のとりまとめされたが、畑地化事業の内容ととりまとめ状況は。



圃場整備地の荒廃水田

**答** 産業課長 畑地化促進事業は、単年度で10a当たり14万円支援する畑地化支援と、10a当たり2万円を5年間支援する定着支援がある。

現在、本町では、21農家から15・4haの希望があった。これは伯耆町の高収益作物栽培面積146.6haの約1割に当たる。

**問** 本町における農地の活用方法、高収益作物の導入、担い手の確保等の今後の取り組み方針は。

**答** 町長 課題となるのは担い手の確保であると考えます。本町では、経営能力が高い担い手が農地の利活用を担っているが、スマート農業への支援をしながらさらに生産性の高い取組みを進めてゆき、担い手の確保を図ってゆく。

「地域計画」において農地と担い手を結びつける具体的な計画を令和6年度に策定する。

**問** 町道整備及び維持管理について

**答** 地域整備課長 交通量が少ない集落内道路で事業規模が少額な道路については、集落負担でお願いしている。また五か年計画で改良要望があった路線のうち、交通量、国道や

県道の接続状況、通学路の指定状況を勘案し、多額の工事費を必要とする場合は、町が事業主体で行う。道路改良の優先順位は、歩行者、通行車両の安全確保、緊急的な対応の必要性、国、県の補助金や起債対象となるかどうかにより決定する。

**問** 主要な町道の凍結防止剤の散布を業者に委託しないか。

**答** 地域整備課長 急こう配、橋梁付近に融雪剤を置いて、必要に応じて、集落で散布してもらおうようお願いしております。引き続き集落でお願いしたい。

**問** 消えかけた側線や路面表示の早期補修をしないか。

**答** 地域整備課長 6年度予算において約180万円の予算で、延長4km程度を計画的に実施している。



八郷小学校前

# 能登半島地震の教訓は

町長 国等の動きも

見ながら対応する

**問** 能登半島地震の教訓から、地域防災計画の見直しに

ついて①島根原発の中止と原発ゼロを国、県に求めること。②日野川災害の対応③避難所運営について問う。

**答** 町長 ①新しい知見に基づき、国、県、規制庁等で丁寧な見直しがある。②日野川は2018年、風水害規定に基づき、河川整備等を実施、気象庁発表による予測行動、避難行動が大事。③国が被災者支援システム構築により、職員対応能力向上の研修も行うこととしている。要支援者も一次受入れで保健師を配置し、福祉避難所対応は4か所を準備、生活用品、ミルク等も備蓄している。

保健師の増員を

**問** 町立病院、助産所もない、その上福祉事務所を受け

る本町で、7人の保健師は少なすぎる、増員の考えはないか。  
**答** 町長 正職7人、会計年度任用職員4人で足りている。増員の考えはない。



はばた ちふみ 議員  
幅田 千富美



ユーチューブ  
動画は  
こちらから

巨大風力発電事業について

**問** 国内最大級、外国製の巨大風力発電計画は、現地

測量、地権者との協議が進み、4月から6月にかけて、準備書が提出との事だが①町に事業者からの相談、住民説明は十分か。②事業者から学校、病院、福祉施設等への個別説明。③天然記念物オオサンショウウオ、クマタカ、オシドリ等への影響。④たたら製鉄遺跡、遺構、城跡及び要塞等の埋蔵文化財包蔵地域、未知の包蔵地の存在に対する関係圏との協議。⑤土砂災害警戒区域、特別警戒区域、水源涵養保安林が風力発電機や附帯設備での改変など、事業者は

相談に来ているのか。

**答** 町長 ①説明が十分つくされているとはいえない。

担当課長 準備書は7月から9月提出と聞いているが、②、③については聞いてない。④平成29年8月、教育委員会と事前協議があり、文化財包蔵地域は除外、未発見のものがあればその後の協議としている。⑤相談はないが所管は県となる。

**問** 3月10日、伯耆町未来の会は鬼の館で武田恵正氏

を招いて学習会を開催（ユーチューブで公開）、11月には7000名の反対署名を県知事に提出している。

安来市や吉賀町は住民の反対の声で町長が知事に反対の意見表明をしている。町長も県に意見を表明しないか。

**答** 町長 状況は色々聞かせていただいた。法的権限が付与される段階になった時に、法的手段に基づき、しっかり対応を行っていきたい。



自主団体活動を支援する保健師

# 避難訓練に 役場職員の参加は

町長 避難訓練は、

区長協議会主催が基本



かたおか ちあき 議員  
片岡 千明



ユーチューブ  
動画は  
こちらから

**問** 鳥取西部地震を体験している本町では、毎年9月に区長協議会主催で、避難訓練が実施されているが、町職員を参加させる考えは。

**答** 町長 災害時、町職員は避難所開設を優先し、加えて応急の災害対応を行うため、自助共助の考えのもと、住民の皆様で避難行動をとってらっている。各地区、集落等で具体的な相談等があれば、対応はしていく。

**問** 能登半島地震直後、停電により、寒い中大変な思いをしておられる様子が報道されていた。本庁舎には、11台の発電機があるとの事だが、分庁舎に5台程度置く考えは。

**答** 町長 管理の事もふまえて検討します。



旧溝口庁舎

**問** 本町の地域防災計画の中に、住民の責務の項目がある。内容は、普段の準備等当たり前のことが記されている。今一度周知徹底を図っていく考えは。

**答** 町長 住民のみなさんも今、震災に対し、意識が高いと思うので、町報等を通して周知していきます。

## 少子化対策について

**問** 少子化問題は、本町だけでなく、全国のほとんど自治体が抱えている問題だと思われる。昨年、教育民生常任委員会で視察に行った小豆島町は、町独自の奨学金制度を設け、帰町して、5年間居住すれば返済免除とするという。このように、全国の自治体で様々な施策をしている。ただ、移住・定住策が先か、子育て支援策が先かとの話も聞く。こうしたなか、町長の少子化対策についての考えは。

**答** 町長 少子・高齢化により、人口が減少しているのは事実。加えて東京一極集中化により、地方では働き手の減少も進んでいる社会構造になっている。本町でも出生数は、現在、

50人前後まで減っている。ただ、小学校の入学児童数は、90人前後で推移している。宅地開発等に伴い、家を建て転入者が増加していると考えている。

一方、効果が判然としない施策に向かわざるをえないのも現在の自治体であり、国も同じだと思う。それが、子供家庭庁の設置であり、国の危機感の現れだと考える。ただ、それにより、地方への子育て支援等の交付金が増加しているのは良いことだと考える。特別な施策、例えば九州のある自治体では、転入者に500万円出す所もあると聞く。財政的に余裕があるのだから長続きするとは思われない。町の総合力を考えながら、移住なのか、親元に帰られるかは別として、魅力あるまちづくり、住みたいまちづくりを注いでいきたい。



## 地域の未来へ 株式会社上代の挑戦 どぶろくと甘酒で地域を元気に



遠藤みさとさん

株式会社「上代」代表取締役社長遠藤みさとさんに、お話を伺いました。

社長になられたきっかけは

廃業予定ではあったが幼いころから、酒米の田植えなどに参加して親しみがあつた会社で、発起人の方々の想いやまちづくり会社としての想いを聞き、理念に共感し自分が承継することで、会社を存続できるならばしたいと思い決めました。

現在の会社の状況は

承継後にはありがたいことにたくさんの方にどぶろくや甘



杜氏 請川雄哉さん

酒を楽しんでいただき、酒蔵見学や田植えイベントなど地域、国籍を超えこの地域に足を運んでもらえるようにもなりました。

今年は昨年のおよそ3倍の生産を予定しており、より多くの方に伯耆町のお酒を楽しんでいただけるように営業にも力を入れています。

先代から引き継いだお酒造りの技術は主に杜氏の請川さんが受け継ぎ、上代チーム一丸となって美味しいお酒をお届けできるように精進しています。

これからの展開は

創業の頃からこの地域を盛り上げることが目的でしたので、唯一無二のこの地域の資源を守りながら、福岡分校で人が気楽に集まれるような力

フエの展開や地域の方、地域の小学生との関わりをさらに強化し地域一体で活性化を推進していきたい。

販売面では、県内西部地区で8割を占めている販売先を、県内東部・中部地区に拡大していくことです。

これだけは、話しておきたいことはありますか。

好きな言葉に、「人は死んでも意思は死なない」という言葉があります。今まで「上代」に携わってきた人の思いを持って100年、200年先まで続いていけるような会社になりたいと考えています。



二部小5年生と

### 編集後記

能登半島地震から3ヶ月が経ち、いまだ8千人を超える方が、避難生活をおくっておられます。地震大国の日本では、場所関係なく、地震が起きます。ただ、鳥取西部地震から23年が経ち、私たちの防災意識が、薄れてきているように感じます。自分の命は、自分で守ることを第一に、普段から防災意識をもって、生活することが大切だと思います。安全・安心な町づくりへの、議会の動き等、広報で伝えていきたいと思えます。

残り1年、自己満足に終わらないような「議会だより」をお届けしたいと考えています。

(片岡 千明)

#### 【編集】

議会広報常任委員会

- 委員長 片岡 千明
- 副委員長 大床 桂介
- 委員 大森 英一
- 委員 杉本 大介
- 委員 長谷川 満
- 委員 上田 博文

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。